

ゆきしろみず

小老部川/小田野沢/白糖
(2021年5月撮影)

主な内容

- P.1 ごあいさつ、表紙写真の紹介
- P.2 地質調査および周辺整備作業
- P.2 東通ヘッドオフィス計画および新小田野沢寮の増築について
- P.3 東通原子力建設所の紹介 連載企画(その1)
- P.4 お知らせ
- P.5 東通村を知りたい

QRコードを使ってアンケートに応募しよう!

ハガキ又はQRコードでアンケートにお答えいただいた皆さまに粗品をプレゼントいたします。さらに、抽選で10名様に、本誌3ページ掲載の港湾・土木調査グループ三好さんの地元、東京都府中市の「菓子の青木屋 武蔵野の森クッキー 15個入」をプレゼントいたします。当選者の発表は発送等をもって代えさせていただきます。



応募締め切り 2022年6月8日(水)



◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。私どもも雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

ごあいさつ

日頃より、当社事業にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

当社は、本年3月23日の東通村議会全員協議会において「東通原子力発電所建設に向けた取り組み状況」についてご説明し、この中で「東通ヘッドオフィス」に関する計画をお示しいたしました。(※1)

当社は、2019年7月に「青森事業本部」を設置し、「東通ヘッドオフィス」として一部の本社機能を移転いたしました。事務所については、これまで既存の建設所内のスペースを利用しておりました。今後、原子力事業を進めていくにあたり、機能や人員等の更なる強化が必要なことから、ひとみの里エリアにおいて新たにヘッドオフィスの事務所や社宅を整備するとともに、小田野沢地区の社宅(新小田野沢寮)の増築を計画しております。

ひとみの里エリアに新たに整備する事務所や社宅には、貸会議室や屋内広場空間、食堂レストランやコインランドリーなども設置し、地域の皆さまにもご利用いただけるようにすることも検討しており、賑わいや交流が生まれるような場所にもしたいと考えております。

今後は、行政や防災機能の中心となる、ひとみの里エリアでの新たな拠点とともに、小田野沢地区の既存事務所を発電所建設に直接関わる要員の拠点として活かしながら、東通原子力発電所の建設に向けてしっかりと取り組んでまいります。

また、本年2月21日には、東通村、当社、そして一般社団法人東通みらい共創協議会の3者において、地域の災害対応力の向上を目的に、「自然災害時における応急活動及び平常時における予防活動の協力に関する協定」を締結いたしました。(※2)

この協定締結により、東通村内で自然災害による被害が発生した際には、避難所の円滑な運営や避難先確保等を行うとともに、平常時には防災訓練を協働して行うなど、地域の災害対応力の向上はもとより、安全・安心で暮らしやすい、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

今後も皆さまからのご意見・ご要望に真摯に向き合い、地域の一員として、皆さまの想いをしっかりと受け止めながら事業を進めてまいりますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。



常務執行役 青森事業本部長

宗 一誠



東通原子力建設所長

太田 武

※1 「東通ヘッドオフィス計画」の詳細については2ページをご覧ください

※2 「東通みらい共創協議会」と「自然災害時における応急活動及び平常時における予防活動の協力に関する協定締結」の詳細については4ページをご覧ください



表紙写真の紹介



本号表紙写真のスポットを紹介します。

新緑の季節に東通村内を散策していた折りに、小老部川がよく見渡せる場所がありました。川を流れる清流と、木々の新しい芽吹きを見て、暖かな春の温もりを感じました。長い冬から目覚めるこの季節は、とても待ち遠しいですね。



小老部川

地質調査および周辺整備作業 ～2022年4月現在～

東通原子力発電所の早期の工事再開を目指して、地質調査を引き続き実施しています。

これらの調査により、より安全に優れた発電所設計を追求するとともに、敷地内における用地や設備の将来的な活用のあり方に必要な情報を収集していきます。また、安全性を確保したうえで建設を円滑に進める観点から、建設エリア内における建物、設備等の配置計画の変更も検討していきます。

●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

→敷地の地質・地質構造を把握するため、敷地高台エリアを中心に地下のボーリング調査を継続して実施しています。

●試掘坑による地質・地質構造の調査

→2019年1月より立坑掘削、同年5月からは人が坑内に入って調査するための横坑掘削を実施しています。

●調査観測用「地震計」設置工事

→地中深くの地震観測を行うため、2021年2月より、敷地内地下に調査用地震計を設置するための工事を実施しました。2022年3月に地震計設置が完了し、地震観測を行う準備が整いました。

●発電所南側ヤードの盛土造成

→建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、建設に必要な強度を確保しています。

●ボーリングコア収納倉庫の増築

→採取したコアを収納するための倉庫を昨年度1棟増築し、さらに1棟を増築中です。現在、柱、梁、外壁材の工事を実施中です。



ボーリング調査(2022年4月撮影)



東通原子力発電所サイト全体(2022年4月撮影)

(用語解説) ◆立坑(たてこう):垂直方向に掘られた地下の穴 ◆横坑(よここう):水平方向に掘られた地下の穴

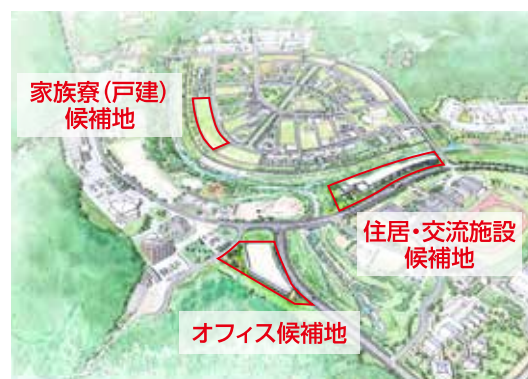
◆ヤード:作業場 ◆ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中をボーリング(掘削)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル

東通ヘッドオフィス計画および新小田野沢寮の増築について

原子力事業を進めていくにあたり、機能・人員の更なる強化が必要となることから、ひとみの里エリアでは新たにヘッドオフィスの事務所や社宅を整備するとともに、小田野沢地区の社宅(新小田野沢寮)の増築を計画しています。

●ヘッドオフィスの計画

→オフィス棟は、日常や災害時の連携を視野に役場の隣接地に2階建てとし、住居・交流施設は、一般の方が利用しやすいように、診療所や新たなスーパー、小学校などの近傍に、3階建てで計画しています。周囲の景観に配慮したデザインを目指すとともに、小学校の正門前となる住居・交流施設は、小学生の視界を考慮した建物配置を検討しています。また、施設の一部は、地域の方にもご利用いただくことを考えています。運用開始は2024年度の予定です。



(全てイメージ写真)



屋内広場空間



シェアオフィス



貸会議室



食堂レストラン



コインランドリー



シェアキッチン

●新小田野沢寮(独身寮)の増築

→50戸の増築を計画しています。(増築後は計100戸) 予定工期は2022年7月～2023年6月です。

増築後
(イメージ)



東通原子力建設所の紹介

連載企画 **その1**



まつもと けんじ
松本 悟副所長インタビュー

- 出身／生れは東京都町田市
育ちは静岡県三島市
- 自宅／東京都目黒区(妻、長男、次男)
- 趣味／溪流釣り(フライフィッシング)
ゴルフ、ゲーム(SPLATOON)

今回から「東通原子力建設所」の業務内容や働く社員について紹介していきます。

第1回目は、松本悟副所長にインタビューしながら「土木設備グループ」と「港湾・土木調査グループ」を紹介します!

Q. 東通原子力建設所ではどのような仕事をされているのでしょうか?

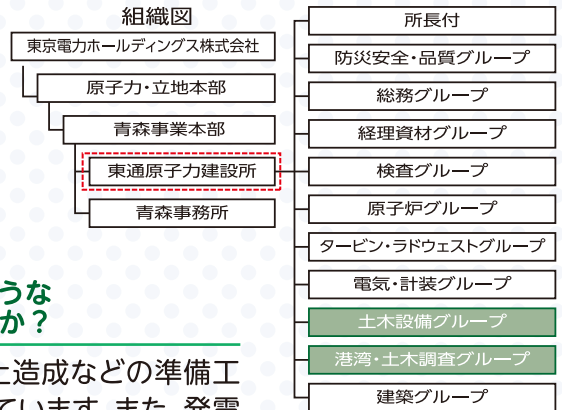
ボーリングなどの地質調査や盛土造成などの準備工事の計画、実施、安全管理を行っています。また、発電所の建設に向けて、設置変更許可申請などの準備、建設工事計画の立案などの検討も行っています。

Q. 東通村に住んでみて感じたことは?

20年ほど前に東通村に住んでいた頃にハマった溪流釣り(フライフィッシング)を、再びできることに感動しています。4月の解禁日にあわせて、通販でフライやラインなどの道具を大量発注中です。

Q. これからの目標や展望はありますか?

地域の皆さまのご理解を頂きながら、できるだけ早く建設工事を再開し、地元にも貢献できるようにがんばりたいと思います。



<土木設備グループの皆さん>



松岡グループマネージャー、水上チームリーダー、矢口メンバー、中原メンバー、相澤メンバー

業務概要

現在は、作業エリア確保に向けた準備(盛土造成)を実施するとともに、今後の陸上土木工事の計画や設計検討を実施しています。

意気込み

土木工事は地味な印象がありますが、「縁の下の力持ち」として、そして皆の知恵と技術を結集し、安全第一で環境にも配慮した原子力発電所の建設を進めていきたいと思っています。

業務概要

港湾設備やビオトープネットワーク※の保全を実施するとともに、本格的な地質調査等を実施し、当地点の拡張可能性の評価に必要な材料を収集しています。

※ビオトープネットワーク: 動植物の生息・生育地と、それらをつなぐ回廊の総称

意気込み

敷地内における東通の豊かな自然環境を保全しつつ、当地点の開発へ向け、適切な地質調査を安全最優先で実施していきます!

<港湾・土木調査グループの皆さん>



荒川グループマネージャー、新井チームリーダー、山口メンバー、三好メンバー、川上メンバー



三好メンバーのつぶやき

～私の休日の楽しみ～

一昨年の8月から東通に勤務しています。コロナ禍ということもあり、村内や寮から近い範囲で休日を満喫しています!

初めての経験!
大自然を感じられました。



村内でワカサギ釣り



同期や後輩とゴルフ練習



尻屋崎の寒立馬

初ラウンドへ向けて練習中

※撮影のため、一時的にマスクを外しております

お知らせ

前号以降の主なプレスリリースについて、お知らせいたします。

- 2021年11月17日 福島第一原子力発電所における多核種除去設備等処理水(ALPS処理水)の海洋放出に係る放射線影響評価(設計段階)について
- 2021年12月21日 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画変更認可申請書」の申請について
- 2022年 2月18日 プルトニウム利用計画について
- 2022年 2月21日 自然災害時における応急活動及び平常時における予防活動の協力に関する協定締結のお知らせ
- 2022年 3月29日 2022年度使用済燃料等の輸送計画について



プレスリリース
詳細はこちら!

自然災害時における応急活動及び平常時における予防活動の協力に関する協定締結のお知らせ

2022年2月21日に、東通村、当社、一般社団法人東通みらい共創協議会の3者で、自然災害時における応急活動及び平常時における予防活動の協力に関する協定を締結いたしました。

この協定は、地域の災害対応力の向上を目的としており、同協定に基づき、平常時には訓練への参加、災害の発生時にはさまざまな資機材の貸し出しなどを行ってまいります。



〈一般社団法人東通みらい共創協議会とは?〉

2021年3月19日に、東通村と当社が共同で設立した協議会で、持続可能な地域づくりや当社原子力事業の基盤整備につながる事業に貢献するとともに、東通村の持続的で豊かな未来を創造していくことを目的としています。



※一般社団法人東通みらい共創協議会の詳細についてはこちらからご覧いただけます。(higashidoori-mirai.or.jp)

東通村を知りたい

「はぐくむ」人にクローズアップ!!地域で頑張っている方を紹介します。



下北で三味線奏者をはぐくみ、
目指すは世界の津軽三味線集団!



津軽三味線奏者・講師
ほずみ けんた
八月朔日 健太さん

Q1. 東通村に移住してきた経緯は?

弘前大学に在学中、一般社団法人「tsumugu」の代表である小寺さんの授業を受けていた際に、下北地方でのインターンシップに誘われ東通村を訪れました。そして、やがて住むようになりました。

Q2. 津軽三味線の魅力はどんなところですか?

一番は迫力だと思います。三味線には様々な種類がありますが、私が使っているタイプの三味線は一番音が大きくて、その迫力を体感することができるので、そこが魅力だと思います。それと盆踊りの時などで、三味線1本で民謡を弾くことができるので他の音源が無くても、皆で盛り上げられるところも魅力の1つだと思います。



Q3. コロナ禍において

思うように活動できないと思いますが、
新しく取り組んでいることはありますか?

民謡などを楽譜に書き起こしています。津軽三味線はもともと目の見えない人たちの芸事から生まれたという歴史があり、「音」のみで伝承されてきたことから、現存する楽譜が少ないのが現状です。地域に伝わる音を絶やさないためにも楽譜という形で残していきたいです。



Q4. 皆さまにひとこと!

ぜひ、三味線教室にお越しください。体験教室は未経験の方や三味線をお持ちでない方も参加できます。お気軽にご連絡ください。



体験教室などのお申込・ご相談はコチラ!
☎080-6058-3944 Email:kenta8090@gmail.com

地域イベントへの参加(産業まつり)

11月に東通村の主催で行われました「東通村産業まつり」に参加しました。当社は「じゃんけん de お菓子つかみ」※というゲームを催し、多くのお子さまに楽しんでもらえました。他のイベントの再開も待ち遠しいですね。



じゃんけんで勝てるかな?



※「じゃんけん de お菓子つかみ」とは、当社スタッフとじゃんけんをして勝ったら箱の中にあるお菓子を両手で取ることができ、負けてしまった場合でも片手で取ることができるゲームです

編集後記

2021年10月に広報グループに着任し、本号から担当となりました浦崎と申します。出身は青森県おいらせ町です。弊社事業の取り組み状況等の情報を発信し、皆さまから親しまれる広報誌を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。



(ユウジ)

※撮影のため、一時的にマスクを外しております

郵便はがき

039-4290

022

〈受取人〉
東通村大字小田野沢字南通 2-303
東京電力ホールディングス(株)
青森事業本部 地域コミュニケーション室
広報グループ 行

料金受取人私郵便

むっ
承 局
承 認

17

受取人私承認期限
2023年4月30日

●切手不要



VOL41 プレゼント付アンケートはがき

※広報誌表紙にあるQRコードでも簡単に応募することができます。

お名前 (ふりがな)	性別
	男・女
ご住所 〒	年齢
	歳
お電話番号	— —

上記、本枠内の必要事項をご記入いただき、
裏面のアンケートへのご協力をお願いします。

裏面へ →

アンケートにご協力をお願いします

1. 当社が現在進めている取り組みについて、ご理解いただけましたか？

- 理解できた あまり理解できなかった
 まあまあ理解できた 理解できなかった

※選んだ項目について、その理由もお聞かせください。

2. 印象に残った記事は何でしたか？(いくつでも)

- ごあいさつ 東通原子力建設所の紹介
 表紙写真の紹介 お知らせ
 地質調査および周辺整備作業 東通村を知りたい
 東通ヘッドオフィス計画および新小田野沢寮の増築について

3. 原子力やエネルギーについて関心のあること、
または東通村内の旬な話題、スポット等をお聞かせください。

※今後、取材の参考とさせていただきます。

4. 青森事業本部へのご意見等がありましたら、お聞かせください。

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連以外の目的では使用いたしません。